

## 浜北市

### 地形概況

北部の都田川東部は堀谷丘陵や浜北山地からなる。天竜川西側の低地は旧河道や中州などの微地形をもつ砂礫質の扇状地、宮口から姥ヶ谷は扇状地性の段丘、浜北段丘面からなる。上島はかつて輪中であり、馬込川は旧天竜川の流路といわれる。

### 地質概況

北部山地は秩父帯の黒色片岩・砂岩・輝緑凝灰岩からなる。堀谷は東鴨江累層の礫層からなる丘陵で堆積面は少ない。天竜川扇状地の地域は厚い砂礫層が堆積し、旧河道は泥質層となる。黒ボクにおおわれる低位の浜北段丘礫層も分布する。

### 気象概況

年平均気温は推定 15.5°Cと県内でも気温が高い地域である。冬は季節風によって乾燥し晴天日が多いため、日照時間が県内で最も長い。年平均降水量は推定 2,300mm と県平均値に近く、4月から8月にかけて全降水量の約半分に達する。

### 災害事例 地震

- 1944年12月7日（昭和19年）東南海地震 M=7.9  
県中・西部で被害があった。当地の籠玉村で半壊5戸、龍池村で半壊1戸、小野口村で全壊1戸、北浜村では全半壊なしと記録され、損害は比較的軽微であった。震度は、上善地・新野・宮口・本村・小松などで5である。
- 1854年12月23日（安政元年）安政東海地震 M=8.4  
全県下に被害があった。当地でも籠玉村で全壊7戸、半壊30戸、中瀬村で半壊3戸、小松村では300戸余のうち100戸余が潰れ破損した。また田畑が裂け、泥水を噴き出した。震度は小松で6、中瀬で5～6である。

### 災害事例 台風

- 1974年7月7日（昭和49年）台風7号(七夕豪雨)  
日雨量は361mmに達した。
- 1926年9月4日（大正15年）  
浜松地方では朝より暴風雨となった。浜松で、風速37.0m/s、降雨量103mmを記録した。当地の被害は全壊1,400戸、半壊1,036戸、船舶流失32隻、破損60隻であった。
- 1918年9月24日（大正7）  
当地では死者45人、その他、道路・橋・堤防・漁船に被害があった。浜松で最大風速22.5m/s、降水量96mmを記録した。

### 災害事例 豪雨

- 1959年8月26日（昭和34年）  
浸水家屋床上70戸、床下920戸の被害を生じた。